

令和6年度 第1回
「性と生を考える看護師の卵の会(仮)」勉強会

今度の勉強会内でみなさんのご意見をより正確な内容を決定します！

HIV・梅毒・HPVを学び予防について考えよう

性感染症から 自分とパートナーを 守るには？

HIV感染症は梅毒の薬歴感染が多く、近年は薬歴感染だけでなく梅毒の感染数も増加傾向にあり、20代の女性にも感染が増えています。
女性というだけで子宮頸がんの感染が増えています。
ヒトパピローマウイルス (HPV) も男女問わず性交渉で感染します。
HPVワクチンが普及されており、予防対策を講じることが出来る感染症です。
HIV治療における中核拠点病院でも感染するさい病院で
HIV、梅毒、HPVについて実習を学び、性感染症の予防啓発について看護学生として自分ができることを考えてみませんか。

8:40受付開始

2024.7.20 SAT 9:00-12:40

会場 新緑ろうさい病院 8階講堂 (新緑市中央部10番2号) 対象 新緑市内の看護学生

プログラム

- 9:00-9:10 オリエントेशन
- 9:10-9:30 講演①「HIVについて」宮城香花人医師 (新緑ろうさい病院副院長)
- 9:30-10:00 講演②「梅毒について」足立功一医師 (新緑市立クリニック院長)
- 10:00-10:30 講演③「HPVについて」石村麻子医師 (市立新緑総合病院産婦人科部長)
- 10:30-10:40 休憩
- 10:40-12:20 グループワーク「活動案を考えよう」
- 12:35-12:40 Closing remarks 専任准 新緑労災病院院長

※お昼は無料！
お気軽にご参加ください！

【主催：新いっせわせ】新緑ろうさい病院 (TEL.0154-22-7101)

